

2018年2月1日
日本生命保険相互会社

教育ボンド（ドイツ NRW 州）への投資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン州（正式名称：Federal State of North Rhine-Westphalia、以下「NRW 州」）が私募形式で発行する教育ボンド（Education Bond、以下「当債券」）に 50 百万ユーロ（約 68 億円）投資しました。なお、NRW 州が教育ボンドを発行することおよび、当社が教育ボンドへ投資するのは初めてとなります。

NRW 州は、州南西部にルール工業地帯を有しており、人口・経済規模の観点からドイツ国内で最大の州です。同州は、「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進するため、「サステナビリティ戦略（Sustainability Strategy）」を作成する等、環境・社会・経済の総合的な発展に取り組んでいます。

当債券による調達資金は、同州における地方自治体や自治体連合に対する、学校セクターや幼児教育、スポーツ施設への投資を目的とした助成金として活用されることにより、SDGs の一項目である「質の高い教育をみんなに」の向上に寄与することとなります。当社は、当債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、投資資金が持続可能な社会形成の一助となることを期待しています。

なお、当社は昨年度、国連責任投資原則（PRI）（※）への署名を行っているほか、中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4 年で 1.5 兆円の成長・新規領域への投融資を目指す中で ESG 債等への投融資 2,000 億円を目標としており、社会貢献領域への投融資を行う当債券もその一つと位置付けています。

※ 持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が ESG 課題を投資の意思決定に組込むことを提唱する原則

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ESG 投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<日本生命の取組と SDGs との関係>

2015年9月に国連総会で、持続可能な発展のために世界が共有して取組む17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したアジェンダをもとに、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くすことが求められ、SDGs達成に向けた企業の役割も期待されています。

当社は、これまでもSDGsと関連するさまざまな商品・サービスの開発・提供、資産運用等に取り組んでいます。今後も、グローバル社会からの要請も視野に、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



<今回の案件の関連する SDGs 目標>

目標4：質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

(例)

- ・質の高い技術教育・職業訓練及び大学を含む高等教育への平等なアクセス
- ・障がいのある方や子ども等への配慮
- ・持続可能な開発のための教育、学習環境の改善



以上

H29-2074G, 広報部